

平成 28 年度 第 2 回

古殿町越代地区 地域づくり懇談会

日時：平成 28 年 12 月 12 日（月）14:00～16:10

場所：越代の桜公園,大久保集会センター

古殿町越代地区において、第 2 回地域づくり懇談会が開催されました。

今回は、樹木医である鈴木俊行先生（福島県都市公園・緑化協会 福島空港公園事務所長）をお招きして、越代の桜の現地調査による状態確認と周辺環境整備に関する講演会を行い、理解を深めました。

第 1 部 現地調査

（越代の桜公園）

✿ 試掘

鈴木先生の指導の下、桜の生育状況確認のため、法面の試掘を行いました。

- ・斜面上部：太い根が張っているので、掘削時は注意が必要。
- ・斜面中段：根が確認されなかったため、問題なし。
- ・斜面下部：根が確認されなかったため、問題なし。



【試掘の様子】

✿ 現地確認

- 地下水のしみ出しを確認しました。
⇒桜は水のある方向に根を伸ばすので、地下水を保全する必要があります。
- 花芽の出が良く、春に向けて桜はとても良い状態でした。
⇒8月に実施した施肥の効果があったと考えられます。

第 2 部 懇談会

（大久田集会センター）

✿ 講演「越代の桜保全及び周辺環境整備について」（樹木医 鈴木俊行先生）

- 桜の性質について
 - ・山桜は非常に多くの種類があり、長命といわれています。
 - ・桜の寿命を短くする原因は、人による生育環境の変化であることが多く、土壌環境が重要です。
 - ・根の広がりには枝の数に比例し、支持根は樹高の 5 倍あります。
 - ・桜は水と光があるところに生育します。
 - ・地面から 30cm 程のところに吸収根が詰まっています。
 - ・桜は 1 度枯れてしまうと、同じ場所に新しい苗を植えても育ちません。[連作障害]
 - ・桜の花の散りは水分が少ないと早くなります。
- 越代の桜の保全について
 - ・手入れ次第では、樹齢 1000 年も目指せます。
 - ・桜は除草剤に弱いので、周辺の畑や道路の除草の際は薬を控えましょう。
 - ・冬期の鶏糞と腐葉土を混ぜた肥料での壺肥が土壌改良には最適です。

✿ 懇談会

- 桜のライトアップについて
LED ライトで照射時間 1 日 3 時間、1 週間～10 日程度ならば影響はありません。
- 土留工について
土留工実施による土壌への影響について検討する必要があります。



【懇談の様子】

✿ 今後の予定

- 越代の桜の休眠期間中に壺肥を実施します。
- 土留工計画については、慎重に検討していきます。

